

創傷治癒促進、繊維症治療剤

創薬・製剤

主たる提供特許	出願者	国立大学法人長崎大学
	題名	創傷または繊維症の治療剤
	番号	特願2015-508606

瘢痕やケロイドの形成を抑制する炎症・繊維化制御剤

技術概要

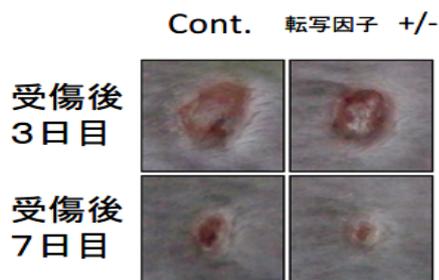
発明概要

皮膚が創傷した場合、その障害部位では、再上皮化・治癒だけでなく、膠原線維の過剰な蓄積である瘢痕(肥厚性瘢痕など)、ケロイドの形成などによって、必ずしも外観が良好な状態になるわけではない。また糖尿病等の基礎疾患を持つ患者や、高齢者は治癒そのものも遅くなりやすい。

従来の創傷治療薬は効果は、線維化や瘢痕の治療を目的としたものはない。また、糖尿病等の皮膚創傷が治りにくい患者に有効であるというデータもない。

本発明のターゲットは、炎症を制御する転写因子である。マウスの創傷モデルに当該転写因子のオリゴ核酸を投与すると炎症・繊維化が抑制され、創傷の治癒を促進される。また治癒後の線維化面積が少ないことから瘢痕形成の抑制にも有効であると考えられる。

また、当該ターゲットは全身に分布し、炎症・組織修復および線維化に関与していると考えられるので、がん、アルツハイマー、心筋梗塞等の炎症または細胞増殖が関連する病態の治療法としても効果を発揮することが期待される。



転写因子改変マウスによる実験。転写因子が抑制されたマウスは創傷の治癒が早い。

応用分野

実用化例

- ・創傷治癒の促進
- ・瘢痕形成、ケロイド形成の抑制
- ・線維症の予防、治療

実用化に向けた課題

ヒトでの臨床研究

企業へのメッセージ

炎症による繊維症全般に有効である可能性があります。